



2024年4月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年12月13日

上場会社名 株式会社 サンオートス
コード番号 7623 URL <https://www.sunautas.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 俊
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 久米 健夫

TEL 045-473-1211

四半期報告書提出予定日 2023年12月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第2四半期の連結業績(2023年5月1日～2023年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	8,263	1.2	144	18.9	147	15.9	135	29.1
2023年4月期第2四半期	8,167	1.8	177	8.5	175	17.9	190	62.9

(注) 包括利益 2024年4月期第2四半期 143百万円 (24.9%) 2023年4月期第2四半期 190百万円 (62.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	41.88	
2023年4月期第2四半期	60.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第2四半期	11,336	3,226	28.5
2023年4月期	10,875	3,138	28.9

(参考) 自己資本 2024年4月期第2四半期 3,226百万円 2023年4月期 3,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期		0.00		17.00	17.00
2024年4月期		0.00			
2024年4月期(予想)				19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	2.0	300	4.2	300	5.0	280	5.5	86.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期2Q	3,230,500 株	2023年4月期	3,230,500 株
期末自己株式数	2024年4月期2Q	4,165 株	2023年4月期	2,465 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期2Q	3,227,148 株	2023年4月期2Q	3,132,535 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年5月1日～2023年10月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う行動制限の解除以降、緩やかに回復する傾向にあります。物価上昇の企業や家計への影響も懸念され、引き続き本格的な回復には時間を要する状況にあると思われま

す。当社グループ事業の環境については、石油製品販売業界においては、OPECプラスの協調減産継続等を受け、原油価格は概ね1バレル60ドル前半～90ドル前半(WTI原油)で推移し、国内でのガソリン店頭価格は150～190円台で推移しました。政府はガソリン価格高騰を抑える施策として元売事業者等を対象とした燃料油価格激変緩和対策事業を継続実施しています。

自動車販売業界におきましては、半導体を始めとした部品不足の問題は解消に向かい、新車の生産台数が改善基調にあります。外国メーカー車の新規登録台数は、円安や輸送コストの増加もあり、当第2四半期会計期間(8月～10月)は59,999台(前年同四半期比0.6%減)(出典:日本自動車輸入組合輸入車登録台数速報)に留まっています。

以上の結果、売上高は8,263百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益144百万円(前年同四半期比18.9%減)、経常利益147百万円(前年同四半期比15.9%減)を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は135百万円(前年同四半期比29.1%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引については、相殺消去前の数値によって表示しております。

① エネルギー事業(石油製品販売、カーケア商品販売、車検・整備)

サービスステーション(SS)におきましてはガソリン価格上昇と近隣SSのリニューアルオープンが重なったこともあり、燃料油の販売量については微減となりましたが、SNS等を利用した広告を継続して強化することにより油外商品の拡販や、お客様のリピーター化を図るため、EneKeyおよびENEOSカードの獲得、車検およびコーティングの新規顧客獲得を図っております。今期から本格的にスタートした新商品の「ENEOS新車のサブスク」(カーリース)につきましても実績が上がり始めております。

売上高につきましては微減となりましたが、洗車、タイヤ、オイル等の油外製品の販売が堅調に推移したことにより増益となりました。

車検・整備部門は、車検の入庫台数が好調、また、継続した展示会への出展によりエンジン洗浄機器の販売も好調を維持していることから増益となりました。

エネルギー部門では、カーボンニュートラルに向けたエネルギーネットワークの構築をするために必要な電気・水素等の新エネルギーへの投資を実施してまいります。

以上の結果、売上高は5,251百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。また、セグメント利益は227百万円(前年同四半期比8.7%増)となりました。

② カービジネス事業(プジョー、ジープの輸入車正規ディーラー、オリックスレンタカー、モビリティ事業)

輸入車販売においては、新車の生産台数は回復基調にあり、供給体制は改善されてきていることから、販売台数については新車、中古車ともに前期を上回る実績となっております。但し、収益面では円安等による車両価格の高騰等も影響し、利益率は低下傾向にあり、回復途上であることから、利益率を考慮した販売力の強化を図ってまいります。

一方、整備・車検部門については、早期入庫の徹底や生産性の改善により安定した利益を確保しております。

レンタカーにつきましては、好調を維持している損害保険・代車チャネルに加え、個人・法人チャネルも回復傾向にあり、稼働率が増加いたしました。保有レンタカーの稼働を適切に管理し、コストの最適化に努めた結果、前年同四半期に比べ増収増益となりました。

モビリティ事業では、前期に引き続き行政、自治体と関係強化を図り、脱炭素社会形成に即した移動手段(モビリティサービス)の開発を進めています。今年9月には横浜市公募による「MM21エコモビリティチャレンジ」の採択を受け、横浜みなとみらいエリアにて乗捨てが可能となる小型EVカーシェアリングサービスを開始、10月には、当社×神奈川×京急電鉄の3者間による「三浦半島地域圏における地域脱炭素の推進に関する連携協定」を締結し、二次交通の整備、災害対策の強化、地域脱炭素の推進を図るとともに渋滞緩和や地域経済の活性化など、地域課題解決に向け連携した取り組みを開始しています。

また、拠点数の拡大や適切なモビリティサービスの提供に向け、先行投資は継続して実施してまいります。

以上の結果、売上高は、2,744百万円（前年同四半期比5.6%増）、セグメント利益は34百万円（前年同四半期比52.4%減）となりました。

③ ライフサポート事業（損害保険・生命保険募集業務）

当事業では、来店型保険ショップ『ほけんの窓口』を神奈川県で3店舗を展開しております。継続してコンサルティング業務の質の向上、集客増加を意識した活動をおこなっておりますが、徐々に効果が見え始め収益面では改善基調に向かっております。また、当社グループ顧客等に対して継続して「サンオータス保険」を展開し火災保険、自動車保険等の総合サービスの拡充に進めております。

以上の結果、売上高は82百万円（前年同四半期比2.6%減）、セグメント損失は5百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

④ 不動産関連事業（ビルメンテナンス業、不動産賃貸業）

不動産関連部門につきましては、老朽化により閉店した新吉田SSをモビリティサービス付き共同住宅に改築し2023年6月に竣工しました。建築費用の先行投資が発生し一時的な減益要因となりましたが、今後は安定的な収益計上が見込まれております。

総合ビル・メンテナンス部門におきましては、提案型営業、新規案件の開拓、採算性を意識した活動を実施し、売上は微減となりましたが、収益は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は244百万円（前年同四半期比1.2%減）、セグメント利益は57百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

総資産は前連結会計年度末に比べ460百万円増加し、11,336百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ315百万円増加し、3,540百万円となりました。これは主として「その他」に含まれる未収消費税等が77百万円減少したものの、現金及び預金が105百万円、商品が295百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ145百万円増加し、7,796百万円となりました。これは主として「その他」に含まれる建設仮勘定が225百万円減少したものの、建物及び構築物が307百万円、リース資産が54百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

負債は前連結会計年度末に比べ371百万円増加し、8,109百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ139百万円減少し、5,046百万円となりました。これは主として買掛金が53百万円、短期借入金が30百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が221百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ511百万円増加し、3,063百万円となりました。長期借入金が453百万円、リース債務が45百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産合計は当第2四半期連結会計期間の業績を反映し3,226百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント減少して28.5%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加して644百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は、565百万円(前年同四半期連結累計期間は171百万円の獲得)となりました。これは主に、売上債権の増加額が59百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益131百万円、減価償却費276百万円の計上、仕入債務の増加額が87百万円、未収消費税等の減少額が77百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、575百万円(前年同四半期連結累計期間は184百万円の使用)となりました。これは主に、試乗用車両を中心とした有形固定資産の取得による支出が518百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は、65百万円(前年同四半期連結累計期間は27百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出518百万円、リース債務の返済による支出が141百万円、配当金の支払額が54百万円あったものの、短期借入金の増加額が30百万円、長期借入れによる収入が750百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年6月16日に公表の数値を変更しておりません。なお、この連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	678,868	784,181
受取手形及び売掛金	878,577	958,958
商品	1,270,114	1,565,199
貯蔵品	1,005	1,255
その他	418,860	254,297
貸倒引当金	△22,321	△23,781
流動資産合計	3,225,105	3,540,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	971,416	1,278,462
土地	4,499,789	4,499,789
リース資産(純額)	569,826	624,296
その他(純額)	715,353	476,630
有形固定資産合計	6,756,386	6,879,179
無形固定資産		
その他	16,144	15,979
無形固定資産合計	16,144	15,979
投資その他の資産		
投資有価証券	63,373	74,430
差入保証金	288,926	281,400
繰延税金資産	119,070	132,763
その他	416,320	421,929
貸倒引当金	△9,395	△9,395
投資その他の資産合計	878,296	901,128
固定資産合計	7,650,826	7,796,287
資産合計	10,875,932	11,336,398

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	809,667	863,567
短期借入金	3,020,000	3,050,000
1年内返済予定の長期借入金	565,056	343,716
リース債務	251,237	266,141
未払法人税等	18,343	10,978
賞与引当金	93,367	89,803
その他	427,815	422,154
流動負債合計	5,185,485	5,046,360
固定負債		
長期借入金	1,601,354	2,055,212
リース債務	397,055	442,935
役員退職慰労引当金	131,301	135,280
退職給付に係る負債	318,887	326,325
繰延税金負債	18,892	19,790
その他	84,558	83,539
固定負債合計	2,552,049	3,063,083
負債合計	7,737,534	8,109,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	767,729	767,729
利益剰余金	2,265,109	2,345,405
自己株式	△332	△332
株主資本合計	3,132,506	3,212,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,890	14,151
その他の包括利益累計額合計	5,890	14,151
純資産合計	3,138,397	3,226,954
負債純資産合計	10,875,932	11,336,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
売上高	8,167,858	8,263,968
売上原価	6,231,370	6,259,614
売上総利益	1,936,488	2,004,354
販売費及び一般管理費	1,758,530	1,859,994
営業利益	177,957	144,359
営業外収益		
受取配当金	897	938
受取手数料	9,874	10,256
仕入割引	5,605	5,487
受取保険金	1,400	7,451
雑収入	5,834	11,566
その他	3,354	9
営業外収益合計	26,967	35,709
営業外費用		
支払利息	28,665	31,992
その他	1,148	744
営業外費用合計	29,813	32,736
経常利益	175,111	147,332
特別利益		
固定資産売却益	-	599
特別利益合計	-	599
特別損失		
固定資産除却損	-	582
役員退職慰労金	-	12,512
棚卸資産除却損	-	2,954
特別損失合計	-	16,049
税金等調整前四半期純利益	175,111	131,882
法人税、住民税及び事業税	13,615	11,025
法人税等調整額	△29,112	△14,315
法人税等合計	△15,497	△3,290
四半期純利益	190,608	135,172
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,608	135,172

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	190,608	135,172
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	379	8,260
その他の包括利益合計	379	8,260
四半期包括利益	190,987	143,433
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,987	143,433
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,111	131,882
減価償却費	224,870	276,234
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,227	1,460
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,362	△3,564
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,025	7,437
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,253	3,978
受取利息及び受取配当金	△2,254	△947
支払利息	28,665	31,992
投資有価証券償還損益 (△は益)	△1,998	-
固定資産売却益	-	△599
固定資産除却損	-	582
売上債権の増減額 (△は増加)	△53,355	△59,887
棚卸資産の増減額 (△は増加)	63,085	43,986
仕入債務の増減額 (△は減少)	△110,186	87,528
未収消費税等の増減額 (△は増加)	-	77,243
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,326	7,025
未収入金の増減額 (△は増加)	44,476	36,421
未払金の増減額 (△は減少)	△50,681	△36,803
その他	△19,447	△15,966
小計	238,321	588,006
利息及び配当金の受取額	2,257	947
利息の支払額	△30,143	△32,684
法人税等の支払額	△39,284	△20,935
法人税等の還付額	-	30,003
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,150	565,337
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△213,143	△518,264
有形固定資産の売却による収入	-	599
投資有価証券の取得による支出	△1,227	△1,274
投資有価証券の償還による収入	30,000	-
差入保証金の差入による支出	△200	△14
差入保証金の回収による収入	6,120	6,096
定期預金の純増減額 (△は増加)	-	△50,000
その他	△6,442	△12,708
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,893	△575,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	400,000	30,000
長期借入れによる収入	-	750,000
長期借入金の返済による支出	△190,819	△518,455
リース債務の返済による支出	△135,701	△141,635
配当金の支払額	△45,776	△54,367
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,703	65,542
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,960	55,313
現金及び現金同等物の期首残高	736,104	588,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	750,065	644,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,282,799	2,563,965	84,656	236,436	8,167,858	—	8,167,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,193	34,815	27	11,423	52,459	△52,459	—
計	5,288,992	2,598,781	84,683	247,860	8,220,318	△52,459	8,167,858
セグメント利益又は損失(△)	209,301	73,469	△7,426	64,280	339,624	△161,667	177,957

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△161,667千円には、セグメント間取引消去7,426千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,093千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	エネルギー 事業	カービジネ ス事業	ライフサポ ート事業	不動産関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,244,520	2,707,080	82,975	229,392	8,263,968	—	8,263,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,691	37,027	△529	15,533	58,723	△58,723	—
計	5,251,212	2,744,107	82,445	244,925	8,322,691	△58,723	8,263,968
セグメント利益又は損失(△)	227,488	34,973	△5,162	57,588	314,887	△170,527	144,359

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,527千円には、セグメント間取引消去7,115千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△177,643千円が含まれております。なお、全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。